

報道関係各位

2007年5月22日  
緑内障フレンド・ネットワーク

**緑内障フレンド・ネットワーク**  
**ホームページをリニューアル**  
～音声読み上げソフトに対応しました～

緑内障の啓発を主に活動する患者組織である緑内障フレンド・ネットワーク(代表:柿澤映子 会員数:1,600名)は、緑内障に関する情報を提供するホームページ(<http://www.gfnet.gr.jp/>)を6月7日(緑内障を考える日)にリニューアルします。

本会ホームページはこれまでも、緑内障による視覚障害のある方にも見やすいよう、色遣いの異なる2種類の画面を用意しておりました。今回のリニューアルでは、デザインの一新とともに、さらに音声読み上げソフトに対応しました。これにより、文字を読むことが困難な方にもご利用いただけるようになりました。

**【緑内障フレンド・ネットワーク HP の特徴】**

**色遣いの異なる2種類の画面**    内容はどちらも同じです。

< 通常画面 >



< 視覚障害のある方向け >



**音声読み上げソフト対応**

音声読み上げソフトをインストールしたパソコンにてご覧の場合、音声を出すことができます。

**【緑内障フレンド・ネットワーク HP の概要】**

**緑内障相談室**

緑内障についての解説、治療法、検査について、Q&A形式でご説明しています。

監修:北澤克明先生(日本緑内障学会前理事長/緑内障フレンド・ネットワーク代表顧問)

**各種調査結果**

緑内障フレンド・ネットワーク会員調査(2006年度)、東京都・全国自治体調査(2006年度)などをダウンロードいただけます。

**会員ルーム**

BBSでの情報交換。会員向けサービスです。

今回のリニューアルより、携帯電話でも閲覧可能になりました(<http://www.gfnet.gr.jp/modules/xmobile/>)。

---

### 緑内障とは

緑内障は眼球の中の圧力(眼圧)が上昇することにより視神経が損傷を受け、視野(見える範囲)が徐々に欠けていき、放置すると失明する危険性がある病気です。日本では40歳以上の20人に1人が発症しており、視覚障害(中途失明)の原因の第1位とされています。特にNTG(Normal Tension Glaucoma: 正常眼圧緑内障)は緑内障の約7割を占めていると言われ、眼圧が正常値にも関わらず視野が欠けていく緑内障のタイプです。NTGは眼圧検査だけでは発見できず、眼底検査、視野検査が診断の為に必要です。約8割から9割の患者が未受診と言われ、失明を未然に防ぐためにも、早期発見、早期治療が大変重要です。

緑内障フレンド・ネットワーク <http://www.gfnet.gr.jp/>

緑内障フレンド・ネットワークは、2000年6月1日に設立された緑内障の啓発を主に活動する患者組織です。緑内障の患者、家族・身内に患者のいる人、活動に賛同する個人、団体、企業などによって構成されています。代表には、自身も緑内障で、これまでも緑内障の知識普及のために活動を続けてきた柿澤映子が就任し、緑内障の研究と治療に長年携わってきた北澤克明・日本緑内障学会 前理事長が顧問としてサポートしています。また本ネットワークは、日本緑内障学会、日本眼科医会からも支持を得ています。

これまでに、緑内障ホットラインの運営、ホームページの開設、東京都や厚生労働省への陳情、書籍の出版、会員の集い、会報の発行、患者手帳の発行、一般の方々への啓発活動等を行っております。

---

本リリースに関する報道機関からのお問い合わせ

緑内障フレンド・ネットワーク事務局

〒103-0027 東京都中央区日本橋 1-2-16-501

TEL:03-3272-6971 FAX:03-3272-6972

<http://www.gfnet.gr.jp> e-mail: [info@gfnet.gr.jp](mailto:info@gfnet.gr.jp)